

日本の学童ほいくニュース

です

2005, 9月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

9月号 秋の夜長にじっくり読んで考えてみたいいくつかのテーマがあると思います。夏休みが終わって子どもたちもふだんの生活に戻ります。大人もどうすれば子どもたちと一緒に「学ぶ楽しさ」を感じられるか、さあ、日本の学童ほいくの頁をめくってみましょう。

今月号の一押し

その1

子どもの「学力低下」と 親が大切にしたいこと

北海道教育大学 田中昌弥

今月号は学校の先生の文章に注目です。

古川先生は「算数」の授業で子どもたちの「発見」に子どもと一緒に感動しています。「先生おれたちってすごいね」と。

土佐先生は相変わらず、ほのぼのとしたわかり易いエピソードを。

講座「気になる子ども」をどう理解するか、の楠先生は最終回。子どもの問題行動の持つ意味を、順序だてて解説してくれています。そして(大人も)子どもも、三つの「き」=「つぶやき」「ぼやき」「ためいき」を大切にしようと呼びかけられています。

さて、田中先生..。1996年OECDが行った調査から「要するに日本で深刻なのは、子どもの学力低下以上に、おとなになったときの学力低下なのです。」大人の問題だよ!そしてそれは何故?なぜ、そうなったの?

興味を持ったなら、自分がいま考えられる色々な糸口をみつけて「徹底的に」調べてみる。-こんな好奇心を「子どものように」持ちつづける。それが学ぶ楽しさの源泉だと..。で、子どもと一緒に「学力」を取り戻す方策は各自で...ではなく、ヒントや具体的な案も書いてあります。ちなみに、私(S,N)の愛読書の一つたくさんのふしぎ(福音堂)です。お~。恥ずかしい。

9月号の特集

学力 学ぶ楽しさを子どもたちに

「子どもの『学力低下』と親が大切にしたいこと」

北海道教育大学 田中昌弥

「無理はさせずに見守って」

岡崎市なかよしクラブ保護者 坂東範子

「親として、できるかぎりのサポートを」

横浜市青葉台学童保育ちびっ子の家保護者

江上早苗

親にとって子どもの「学力問題」は、現実、親が知っていることを我子がわからないとつい..。(不安に)、子どもの自立を妨げないで援助するには、

「学ぶ喜びを感じられる人に」

広島市原南留守家庭子ども会保護者 片平久利美

「先生、おれたちってすごいね」

所沢市立小学校教諭 古川泰

「自分の気持ちと向き合えるように」

さいたま市見沼小学童保育指導員 羽澤憲台

「『真の学力』とは何かを探りながら」

目黒区五本木学童保育クラブ指導員 伊藤三枝子
羽澤さん、伊藤さんの学童保育では、子どもたちの宿題がやはり大きなテーマです。子どもたちの学童生活になかで、宿題問題は避けて通れない。共に親と確認しあいながら学童での「宿題」の時間を確保しています。そしてさらに二人は考えます。

今月の都連協人

P27 「真の学力」とは何かを探りながら

目黒区五本木学童保育クラブ 伊藤三枝子
伊藤先生の学童保育では「宿題」を 子どもを学力面からも把握するうえで不可欠、指導員も一緒にやる、と位置づけ実践しています。「勉強がわかるようになりたい」というほとんどの子どもが持っている願いに込めたいと考えています。でも一方で「真の学力とは何か」...「どんなことがあっても生きていけるだけの自信や意欲を育てること」伊藤先生の学童保育では、子どもたちはどんな体験をするのでしょうか。

P51 お気軽に「非行」相談を

新宿区保護者OB 春野すみれ
わが子の思いがけない大荒れに、どうしよう、まず無料相談会 残念ながら、夏の「非行」何でも相談は、このニュースの出る頃には終わっています。またやる時は、必ず連絡をください。春野さん。

ほいくニュース
について

ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろお寄せください。

作り手も募集しています。



今月号の一押しその2

その1

共に生きる

向日市向日市立第六留守家庭児童会 竹野雅美
息子さんの障害を受け入れ、息子さん自身と向かい合う竹野さん。ここにたどりつくまでには、様々な思いと闘われてきたことでしょう。悲しんだりもがいたりの毎日の中で、たくさんの得がたい経験を、人の温かさに触れるこ

とで、息子さんを受かったことの意味がわかると書かれています。私も学童保育の中で障害のある子と出会い、優しさや温かさ、そして、人間の本质って何だろうと...ということ学んだような気がします。その子がいることで、まわりの子どもたちが励まされ支えられていたように思います。「この世に生を受けたからには、私に何かを届けてくれるための人生でなく、必ずや自分の幸せを見つけ、強く生きてほしいのです。」という竹野さんの言葉にはっとしました。それは自分の子に、障害がある、ないにかかわらず、当然抱く親の思いなのだ...。すべての子どもたちが、当たり前前に幸せに暮らせる世の中となるように、みなさん、手をつないでいきましょう!!

その2

「どうしてどうして？」

ごたわりです。みなさん「ペットボトル」はなぜ「ペットボトル」って呼ぶのか知っていますか？どうして日に焼けると皮がむけるか知っていますか？知らなかったでしょう。丁寧な応答、よく分かります。「なるほど」ですね。知っていいことですね。

次号予告10月号

特集・こころを育てる ことばを育む

- ・子どもの成長とことば 岡本夏木
- ・子どものことばからわかったこと
- ・子どもの大切にしたいことば

すいそう

野澤進行

講座・若者たちの「今」と子育ての課題(仮)

中西新太郎

子どもたちのまなざし

土佐いく子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちば/父母会/子育て日記/わたしは指導員/たのしいな/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか